

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

# かしわば

Vol. 18

2008.4

Kashiwaba Neurosurgical Hospital

## 地域医療連携

患者さんの病状に応じた適切な医療を提供しています

部門レポート／放射線科

月寒川・豊月橋付近

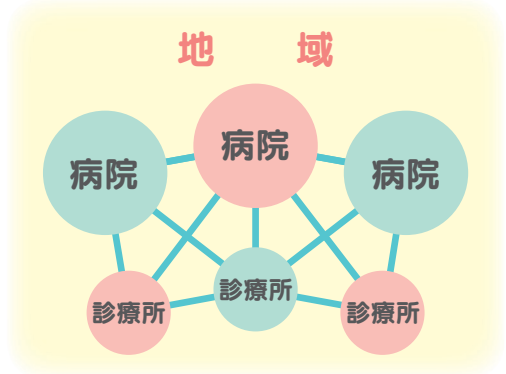
特定医療法人  
柏葉脳神経外科病院

# 地域医療連携 Dr. to Dr.

## 患者さんの病状に応じた適切な医療を提供しています

「地域医療連携」とは、「病院と病院」「診療所と病院」が連携し協力し合って、患者さんに適切な医療を提供することです。患者さんは「かかりつけ医」に通いながら、急病や急変時には専門病院で最新医療機器を使った検査を受けたり、専門治療を受けることができます。

当院でも近隣の病院や診療所と地域医療連携体制を整えています。今回は札幌しらかば台病院との地域医療連携による事例をご紹介します。



365日 24時間  
地域医療連携を支えています

# 万が一倒れたら、できるだけ早く！ 迅速な対応が求められます

## 内科疾患の患者さんに 突然起きた意識障害

「朝、急に意識を失いました」と豊平区月寒にある札幌しらかば台病院へ運ばれた80代のA子さん。診察に当たったのは、循環器科・内科の湯浅博夫医師でした。「以前、内科の慢性疾患で入院していた患者さんです。意識障害と麻痺がありましたので、脳血管障害を疑いました。すぐに柏葉脳神経外科病院へ電話を入れて直接ドクターとお話し、緊急の検査と治療を依頼しました」

札幌しらかば台病院から柏葉脳神経外科病院までは車で5分ほどの距離ですが、湯浅医師はA子さんの脈拍や呼吸の状態などを診ながら付き添いました。「高血圧や糖尿病など、動脈硬化を促進する内科的な慢性疾患を抱えている患者さんは、脳血管障害を発症するリスクが高く、突然に重篤な状態に陥ることがあります。ですから、地域内で365日24時間救急体制で受け入れてくれる柏葉脳神経外科病院はとても頼もしい存在です」と病院間の連携を高く評価します。柏葉脳神経外科病院で診察と検査を受けたA子さんは、脳血管障害を発症していること

が分かり、すぐに治療が行われました。そして一週間の入院後、札幌しらかば台病院へ転院。今まで通りに内科疾患の治療を続けながら、柏葉脳神経外科病院で数カ月一度、脳や脳血管の検査を受けています。

## 札幌しらかば台病院 湯浅 博夫 副院長

【札幌しらかば台病院】  
札幌市豊平区月寒東2条18丁目7-26  
TEL 011-852-8866  
【診療科】内科・消化器科・循環器科・神経内科・整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・アレルギー科・専門外来・検診・ドック  
◆病床数：262床



専門医同士が協力し  
補い合って「尊い命」を守ります

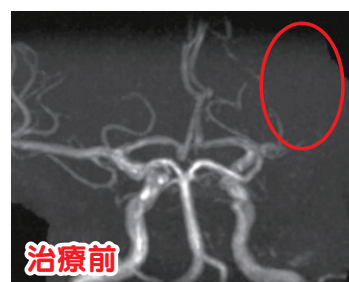


柏葉脳神経外科病院  
金子 貞男 理事長・院長

### 脳梗塞発症後 3 時間以内なら 血栓溶解薬 tPA が使用可能です

脳梗塞発症後 3 時間以内に tPA を投与すると、社会復帰できる割合が従来の 1.5 倍に増加することが報告されています。

日本脳卒中学会は tPA 治療を行う医療機関の条件として、「CT または MRI (磁気共鳴画像) による検査が 24 時間可能」「集中治療のため十分な人員を中心とするストロークチームおよび SCU またはそれに準ずる設備がある事」などを挙げていますが、当院は諸条件を満たし、ガイドラインに則って、tPA 治療のチーム医療体制を整えています。脳梗塞が疑われる場合は一刻も早く、当院へ搬送ください。



tPA 治療前後の MRA 画像  
止まっていた血流が tPA 治療によって再開

脳血管障害は一刻も早い検査・治療が必要です  
柏葉脳神経外科病院では  
365日24時間、患者さんを受け入れています

柏葉脳神経外科病院では搬入要請の電話で、脳血管障害が疑われる患者さんの血圧や脈拍、意識や麻痺の状態を即座に確認し、患者さんが救急処置室に到着する前に、必要と思われる検査や処置の準備を整えます。

脳血管疾患の治療は一刻を争うものです。脳梗塞の治療に有効な血栓溶解薬 tPA は 3 時間以内に投与しなければならず、外科的治療である開頭手術も緊急を要するものです。いつでも最善の治療がすばやく実施できるよう、医師・放射線技師・看護師などが万全の体制を整え

て待機しています。さらに、「病院と病院」「診療所と病院」が協力しあう、地域医療連携体制をより機能的にするため、地域の病院や診療所へ呼びかけて、最先端治療や新薬についての勉強会を開催するなど、地域の医療関係者と顔の見える関係を作りながら、お互いの知識・技術の向上に努めます。

### 脳梗塞の前兆を見逃さないでください

たとえ一過性でも下記の症状が見られた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう

- 意識がなくなる ●片方の手足など半身の動きが急に悪くなる
- 片方の目が見えにくくなる、視野が狭くなる
- 突然ろれつが回らなくなる、言葉が出にくくなる ●突然ふらつき、歩けなくなる

脳梗塞には脳血栓と脳塞栓の 2 通りがあります。脳血栓では症状が数日かけてゆっくり出現することが多いのに対し、脳塞栓では突然、意識障害が出てきます。

柏葉脳神経外科病院では  
24 時間 365 日体制で急患を受け付けています

☎ 011-851-2333



病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院

部門レポート  
放射線科

総括科長…佐々木直樹  
スタッフ……………  
技術科長 1 人、主任代理 1 人、  
技師 6 人、助手 2 人

9人の技師が熟練した技術で  
脳の画像を撮影しています

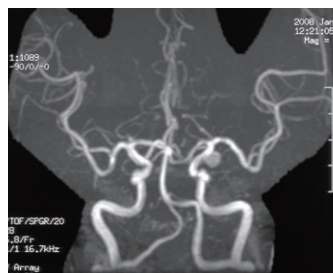
高性能な最新画像診断装置を導入

脳神経を専門に診る当院では、高性能な最新検査機器を駆使して、脳神経の状態を画像で再現し、早期発見・早期診断・早期診療を行っています。

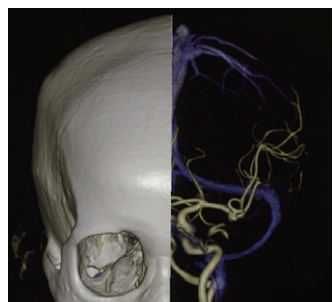
放射線科に設置されている2台の最新MRI（磁気共鳴断層撮影装置）は、磁場強度では最大級の1.5テスラを有する高性能な装置です。脳神経の画像を高分質で提供できるだけでなく、わずか5分という短時間で脳内の動脈を識別することが可能で、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤を破裂する前に高確率で発見することができます。



最新検査機器を操作する佐々木科長



MRIで撮影したMRA画像



3D化したCT画像

状態で待機させています。  
9人の放射線技師が、より高度な医療を実現できるよう、常に最新情報を収集し、知識と技術の向上に努めています。

編集後記

観測史上初、連続最高気温を記録した3月に比べ、肌寒い一日でスタートした4月ですが、当院から見える札幌ドームの照り返しの光も日に強くなり、近隣の街路樹にもぶつくりと膨らんだ新芽をつけた木々が増えてきました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。新芽といえは、当院でも20人の新入職員を迎え、意欲と希望に満ちたその眼に感化・触発されておりま。医療情勢は年を追うごとに厳しさを増すばかりですが、新芽を大切に育て、「患者さんとともに歩む医療」を目指したいと思います。（小川）